

<発行元>社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
鳥取県保育士・保育所支援センター
(鳥取市伏野1729-5県立福祉人材研修センター内)
TEL (0857)59-6342 FAX (0857)59-6341
Eメール hoikucenter@tottori-wel.or.jp
HP <http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/3/>
FB <https://www.facebook.com/tottorihoiku/>

とりっぽ 通信

TORIPPO

第7号
2020.11.20
発行

こちらでも
情報発信中!



ホームページ



Facebook

鳥取県保育士・保育所支援センターは保育士の方の再就職・定着への「1歩」、学生の方の「はじめの1歩」を応援します。

保育の現場や職業の 魅力発信について

ここ数年の保育士を取り巻く環境は、保育士需要の急激な高まりから大きく変化しています。キャリアアップ制度と処遇改善、働き方改革による労働環境の向上、保育の魅力や取組みを積極的にホームページやSNSで発する動きも多く見られるようになりました。そのような中、国より保育現場や職業の魅力を向上させ、積極的に発信していこうという提言が発表されました。今回はその一部を抜粋してお伝えします。

保育士に関する現状・課題

- 保育士の勤続年数は11・2年まで伸びている(平成30年度)
- 退職者の7割は、時短勤務での復職意向を示している
- 保育士養成施設の入学者数は微減傾向で卒業生の15%は一般職に就職している

勤続年数が伸びていますし、退職しても復職意向をもっていらっしゃる方が多いですね。復職後の時短希望者が多いことから、家庭との両立が叶う職場づくりが求められています。保育士を目指す学生が増え、実際に働きたいと感じられる魅力発信をしていきたいところです。

保育士の職業の魅力とは何か?

- 専門職として保育を必要とする多くの子どもの多様な姿や育ちを定点観測のように見守りながら育み続けることができる魅力あふれる仕事
- 保護者とともに、子どもの成長の喜びを分かち合い、社会を支えるインフラとして欠かすことのできない感動のある職場であり、仕事・自分のライフワークやあそび歌・造形などの特技を活かせる仕事

このほか、保育現場の意見募集も行われ、やりがいや魅力について多数寄せられました。

抜粋

「保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書」2020年9月30日より
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-kodomo_554389.html

魅力向上に向けての取組

- 中高生を始め広く社会に魅力を発信
- 生涯働ける魅力ある職場づくり(最重要課題)
- 魅力発信・資格取得支援・就業支援を行うための関係機関連携
- 人気の職業としての保育士のイメージと、実際に現場に出た時のギャップが強い↓業務過多につながる行事や華美な壁面装飾の見直し等の業界全体の取組

鳥取県で行われている「保育人材の確保と定着に関する会議」でも県内の様々な課題について共有や対応策が話し合われています。9月8日に開催された会議では、保育人材の確保には中高生段階から魅力発信とともに、処遇面で保育士は他業種と比較しても差がないことなど最新の正しい情報を発信していくべき、との意見がありました。鳥取県では、学生向けに「とっとりで保育の仕事につくためのガイドブック」を作成し、保育者の魅力発信や制度紹介を行っています。関係者の皆様方も様々な機会でご活用ください。



とっとりで保育の仕事につくためのガイドブック

保育現場の

子ども・保育者が輝く保育園

働きやすい職場づくり

センターでは、保育従事者の確保・定着を推進するため、保育従事者の確保・定着に取り組まれている法人や事業所の事例を発信しています。

今回は、子ども・保育者の主体性を追求し、職場の同僚性を育む「大正保育園」と、子ども・保育者のリアルな姿を発信することで、人材確保に繋げる法人の採用の取り組みをご紹介します。

今回、お話し
いただいたのは



左から木村事務長、長谷川保育士、乾園長



社会福祉法人さとに会
大正保育園（鳥取市徳尾134-1）
職員数37名
園児定員130名

<http://www.satonikai.jp/taisyou/>

子どもの主体性を大切にすること ＝保育者の自主性を大切にすること

大正保育園 乾園長

本園では、教え込む保育ではなく子ども一人ひとりが生き生きと輝ける保育を目指しています。主体性と言うのは簡単ですが、振り返ってみるとそうならないこともあります。私たちが県内外の研修で子ども主体の保育を学び模索する中で、昨年度、ある保育士から「たからじまプロジェクト」の提案があり実施しました。これは、私の目指したい保育でもありましたが、保育士が子どもの姿をくみ取り主体的に提案してくれたことを嬉しく思いました。過去の慣習に沿って保育をすると、いつの間にか保育者主体の保育になってしまいます。保育士には、既存の概念を壊して子どもの姿や興味・関心など心の動きをキャッチしながら、保育を実践して欲しいと願っています。



子どもの主体性を追求した 「たからじまプロジェクト」の取り組み

大正保育園 長谷川保育士(16年目)

絵本「わんぱくだんのだからじま」がきっかけで、年長児クラスの子どもから「作ってみたい」と声があがり、子どもが主体となって意見を出し合い協力して作る「たからじまプロジェクト」が始まりました。島に必要なものは家族や他のクラスの先生などに子どもが直接お願いして調達し、イメージがつきにくいものは園外に視察に出かけました。この活動の期間は、従来の朝の集まりなどの活動を中止し、「遊びきる時間」を確保。最終的に子どもが企画・運営するこのプロジェクトは、「たからじま遠足」「たからじま運動会」など様々な人や地域を巻き込む形で発展しました。子どもの意欲や行動といった目に見える変化に、「子どもの姿が変わった」と成長を実感する保護者の方もいらっしゃいました。私たちが子どもの成長を願って行っている保育を保護者の方をはじめ周囲の方と共有できたことは、保育士として大きなやりがいを感じました。



輝く子ども・保育者の姿を「採用」に活かす

社会福祉法人さとに会 木村事務長

事務的な会議だけでなく、現場に出向き、子どもの姿や保育者の思い・願いを受け止めることで採用の様々な説明の場に活かしています。求職者は、働いている自分やなりたい保育士像をイメージしやすい職場に就職したいのだと思います。このプロジェクトを事例にあげ、法人として大切にしている保育や保育者の思いを発信してきたことで、事務的な説明に重きを置いていた以前と比べて3倍の採用を達成することができました。当法人の保育方針に共感していただいて大変嬉しく思います。



たからじまプロジェクトの様子



保育室に
「たからじま」が完成!

センター
より

大正保育園では、普段から会議以外でも保育者同士で活発にコミュニケーションや意見交換がなされており、特に経験の浅い保育士には1～2年先輩の保育士が積極的に関わっているようです。子どもの姿や保育について、同僚間で認め合う職場の関係性も保育の質を高めるうえでは大切なのですね。

自分たちで計画・準備
した「たからじま運動会」

セミナー・研修情報

対象≫ 事業主（管理職／園長、副園長、主任保育士、主幹教諭等）

新人・若手保育者育成の課題と解決のヒントをお伝えします

令和2年度 人材育成・定着研修 開催のお知らせ

申込方法などの詳細は、別途お送りする開催案内をご確認ください
(12月上旬頃案内予定)。

参加費
無料

本研修はZOOMによる
オンライン研修(申込制)
を予定しています。



講師プロフィール



師岡 章
(もろおかあきら)
白梅学園大学
子ども学部教授

1958(昭和33)年、埼玉県生まれ。
東京学芸大学大学院修了。男性保
育者として、約20年間、保育に従
事した後、國學院大学幼児教育専
門学校、白梅学園短期大学を経て、
2012年より現職。
専門は、保育・幼児教育学。特に
関心をもって取り組んできた研究
は、保育カリキュラム論、遊び論
など。著書は研修同タイトル
(2018フレーベル館)ほか多数。

日時

令和3年

1月15日(金) 13:30~16:30 (予定)

テーマ

若手の保育者の育成法

～組織の活性化は若手の成長がカギ～ (仮題)

(内容) ・エルダー・メンター制度の活用
・人材確保の方策
・同僚性の創出
・新人育成計画 など

講師

白梅学園大学子ども学部
教授 師岡 章氏



助成金情報

対象≫ 事業主

「働きやすい職場づくり」に取り組む事業所をサポートします!

エルダー・メンター制度導入助成金

県内保育所等において、エルダー・メンター制度の導入
またはフォローアップに際して必要となる経費を助成します。

助成額

1カ所あたり上限 50,000円

対象経費

講師・専門家等の派遣、研修受講経費など
(諸謝金、旅費、食糧費、消耗品費、印刷製本費、
通信運搬費、使用料および賃借料、手数料に相
当するもの)

応募締切

令和3年2月26日(金) 当日消印有効
※今年度すでに実施した事業も対象とします。

例えば…

- 制度導入またはフォローアップに際して
- 講師を招いて
職場内研修を実施する場合の経費
- 専門家による
支援を受け入れる場合の経費
- エルダー・メンターに関する研修を
受講する際の経費 など

※募集状況によっては早めに募集を締め切る
場合があります。
※詳しくはお問い合わせいただくか、HPに掲載
の実施要項をご確認ください。

対象≫ 保育士養成校学生

「県外に進学した学生のUターンを応援します

鳥取県保育実習等旅費支援事業

県外の保育士養成校学生(鳥取県出身)が、県内の
保育所等で保育実習等を行う際の旅費を助成します。
※詳しくはお問い合わせいただくか、HPに掲載の実施要項をご確認ください。

助成額

養成施設と実習先に応じて
定額で助成(1人1回)

助成額

令和3年1月31日(日) 当日消印有効

申請は
お早目に!

お知らせ

対象≫ すべての方



鳥取県保育士・保育所支援センターの案内リーフレットができました

保育の現場で働く魅力、センター活動紹介、保育関係資格と就労などについてまとめたリーフレットです。各事業所に配布するほか、ホームページでもご覧いただけます。



保育の現場で働きたいあなたをしっかりとサポート！

鳥取県保育士・保育所支援センターをご利用ください



センターでは「長く保育士として働き続けられる支援」をモットーに活動しています。相談や情報提供など全て無料です。お気軽にお問い合わせください。

Ⅰ 就職支援 保育コーディネーターによる就職支援 対象≫ 求職者、事業主

コーディネーターが求職者の希望に合った求人をご紹介します。また、ブランク状況や家庭との両立を視野に最適な職場環境をご提案します。

事業主の方 保育士等の求人を募集します！
求人登録いただくと条件に合う求職者へ情報提供します。【対象職種】保育士、保育教諭、幼稚園教諭、子育て支援員など

※本事業は鳥取県福祉人材センターの無料職業紹介事業の機能と連携して実施します。

ブランクがあつて不安

見学してみたい！

求人について詳しく知りたい

まずはお気軽にセンターへご相談ください。

Ⅰ 定着支援 保育のお悩み相談窓口 対象≫ 従事者、事業主

仕事や家庭の悩み・困りごとなど…誰かに聞いてもらうことで気持ちが楽になり悩み解決のきっかけになります。まずは話してみませんか（来所は要予約）。

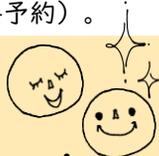
☎ 0857-59-6342

平日8:30~17:00

✉ hoikucenter@tottori-wel.or.jp

毎日24時間受付

※メール相談の場合は返信まで数日いただく場合があります。また、上記アドレスからの受信ができるよう設定してください。



保育現場のメンタルヘルス専門相談

今年度より保健師からの専門的なアドバイスが受けられる「メンタルヘルス専門相談窓口」も開設しました。事業主の方からの相談もお受けしています。

専門相談員 ヘルスプロモーションサポートオフィス 開業保健師 渡部 一恵 氏

相談内容 メンタルヘルス全般、事業所のメンタルヘルス対策、ハラスメント対策、ストレスチェック、職場環境改善 など

Ⅰ 保育資格の届出 対象≫ 求職者、従事者、事業主

保育士資格の届出登録をすると「とりっぴ通信」（年4回）や就職支援セミナーなど各種情報をお送りします。

事業主の方 この届出は保育に関する情報を保育士有資格者に届け、従事者の定着や離職者の復職を促進することを目的としています。現場の従事者の方ややむを得ず離職されることとなった方に、登録の呼びかけをお願いします。

「福祉のお仕事」サイトをご利用ください

インターネットで求人・求職登録、求人票の閲覧、保育士資格の届出などができます。 \スマホでもOK/

福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索



<https://www.fukushi-work.jp/>